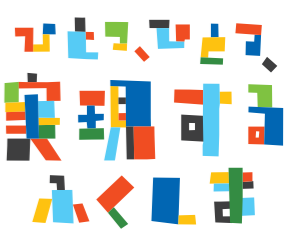


県議会ふくしま

12月定例会(12/7~21)及び11月臨時会(11/29)の概要

第88号

[企画・編集]
福島県議会広報委員会



〈広告〉

新型コロナウイルス感染症拡大防止など 総額537億8,600万円の補正予算など 63件の議案を可決・同意・認定

補正予算の主な内容

1 新型コロナウイルス感染症対策	171億6,404万円
【主な内訳】	
・今後の感染拡大に備えた入院病床の確保	72億8,157万円
・「ワクチン・検査パッケージ」の活用等検査体制整備事業	35億円
・観光周遊宿泊支援対策事業	15億4,580万円
・ふくしま飲食店応援事業	2億6,185万円
2 震災・原子力災害からの復興対策	68億3,632万円
【主な内訳】	
・原子力災害等復興基金積立(被災地の医療提供体制再構築のため)	53億6,705万円
3 原油価格高騰への対応	2億2,894万円
【主な内訳】	
・生活困窮世帯の灯油購入費用を支援する市町村への補助	1億5,425万円
4 公共事業・県単公共事業・維持補修費	257億2,091万円
5 給与改定に伴う人件費の減額	▲18億6,099万円

12月定例会では、知事提出議案が、新型コロナウイルス感染症対策として今後の感染拡大に備えた入院病床などの確保や「ワクチン・検査パッケージ」の活用に対応するための検査体制の整備、県民向け宿泊割引支援の追加や「ふくしま感染症防止対策認定店」対象のプレミアム付き電子食事券の追加販売、震災・原子力災害からの復興として避難地域等における医療復興を進めるための基金積立で、原油価格高騰への対応などに要する経費を計上した一般会計補正予算のほか、特別会計等補正予算10件、「福島県介護保険法施行条例の一部を改正する条例」など条例に関する議案14件、その他の議案32件、議員提出議案として国へ提出する「私学助成の充実強化等を求める意見書」2件、特別委員会の設置に関する議案3件、請願は「事故防止モデル交差点の実現を求めることについて」など11件をそれぞれ可決・同意・認定・採択しました。

11月臨時会を開催

11月臨時会が11月29日に開催され、知事より人事委員会からの期末手当の改定等を含む報告及び勧告により県職員の期末手当の支給割合

の改定等を含む報告及び勧告により県職員の期末手当の支給割合

を引き下げる「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」など条例5件及びその他の議案1件が提出され、総務・商労文教・土木委員会で審査を行い、委員長報告の後いずれも可決・承認されました。

永年勤続表彰を受賞



▲永年勤続功労者表彰(吉田栄光議員)

- 吉田 栄光議員(在職15年・双葉郡)
- 佐藤 政隆議員(在職10年・本宮市・安達郡)
- 小林 昭一議員(在職10年・河沼郡)
- 宮本しづえ議員(在職10年・福島市)
- 高野 光二議員(在職10年・相馬郡)
- 円谷 健市議員(在職10年・石川郡)
- 紺野 長入議員(在職10年・福島市)
- 矢吹 貢一議員(在職10年・いわき市)
- 星 山田平四郎議員(在職10年・郡山市)
- 遊佐 久男議員(在職10年・南会津郡)
- 佐藤 久男議員(在職10年・二本松市)
- 星 雅裕議員(在職10年・福島市)
- 鈴木 智議員(在職10年・いわき市)
- 佐久間俊男議員(在職10年・郡山市)
- 健康 健雄議員(在職10年・郡山市)

産業再生・環境共生特別委員会

- 委員長: 遊佐 久男
- 副委員長: 山口 信雄
- 副委員長: 荒 秀一
- 委員: 青木 稔
- 西丸 武進
- 佐藤 憲保
- 宗方 保
- 神山 悦子
- 今井 久敏
- 星 公正
- 佐久間俊男
- 吉田 英策
- 佐藤 義憲

県民健康・こどもの未来特別委員会

- 委員長: 長尾トモ子
- 副委員長: 三村 博隆
- 副委員長: 佐藤 郁雄
- 委員: 瓜生信一郎
- 太田 光秋
- 亀岡 義尚
- 高橋 秀樹
- 宮本しづえ
- 先崎 温容
- 三瓶 正栄
- 佐々木 彰
- 真山 祐一
- 渡邊 哲也

復興加速化・安全安心な県づくり特別委員会

- 委員長: 円谷 健市
- 副委員長: 水野 透
- 副委員長: 大場 秀樹
- 委員: 満山 喜一
- 吉田 栄光
- 古市 三久
- 宮川 えみ子
- 安部 泰男
- 宮川 政夫
- 高宮 光敏
- 橋本 徹
- 江花 圭司
- 山内 長

調査特別委員会を設置

12月21日、復興の加速化と安全安心

な県づくりに向けた施策の強化など県政の課題に取り組むため、新たに3つの調査特別委員会を設置した。

定例会での主な質疑

令和4年度当初予算編成

【質疑】知事は、令和4年度当初予算をどのような考えの下で編成しているのか。

【答弁】来年度は新たな総合計画の初年度として重要な年であり、避難地域の復興を始め、全国に誇れる健康長寿県の実現や結婚・出産・子育てをしやすい環境づくり、農林水産業の振興や地域産業の持続的発展など福島ならではの地域創生の実現を更に進める。また、新型コロナウイルス感染症の今後に向けた医療体制の整備など拡大防止対策や社会・経済活動の再生、活性化を図り、自然災害からの復旧や防災力の強化、デジタル変革の推進にも取り組む。

風評対策

【質疑】ALPS処理水の処分に伴う風評への懸念の払拭に向け、どのような取り組みをいくのか、知事の考えを尋ねる。

【答弁】県ではこれまで、根強い風評の払拭に向けた福島の正しい姿や魅力の発信等に加え、水産物消費拡大に向けたキャンペーンや海外への販路開拓などに取り組んできた。請戸漁港の竣工など復興が着実に進む中、生業の再生に向けた力強い歩みを決して止めてはならず、国に対し、処理水の処分は日本全体の課題であり最後まで責任を持って対応するよう求める。

原油価格高騰対策

【質疑】原油価格高騰の現状を踏まえ、事業者等をどのように支援していくのか。

【答弁】本県の経済は長引く新型コロナウイルスの影響により深刻な打撃を受けており、様々な需要対策に取り組む

新型コロナウイルス感染症対策

【質疑】今後の感染拡大に備えた医療提供体制の強化など、どのような対策に取り組んでいくのか。

【答弁】国内でも脅威となり得るオミクロン株が確認される中、今後の感染拡大に備え、県民には基本的な感染防止を徹底するよう丁寧呼びかけしていくとともに、第5波を大きく上回る患者想定を行い、病床や宿泊療養施設の更なる確保や効率的な運用による受入数の拡大など療養体制を強化する。また、自宅療養者が増加した場合に備え、地域の医療機関や訪問看護ステーションと連携した健康観察やステーションと連携した健康観察や診療・処方体制の強化、入院待機ステーションの整備を進める。

警察行政

【質疑】県警察における学校や保育施設等の防犯対策について、警察本部長に尋ねる。

【答弁】警察OBのスクールサポーターによる学校、保育施設等の周辺警戒や、不審者侵入防止を目的とした施設点検を教職員と合同で行ったほか、不審者侵入対応訓練や防犯教室での講話などを実施し、必要に応じて情報交換を行い、また、警察署でも不審者侵入対応訓練や防犯教室での講話を行ったほか、POLICEメールふくしま(QRコード参照)、ツイッター、広報紙等により地域に迅速に情報を発信している。

教育行政

【質疑】県教育委員会は、公立小中学校の児童生徒の算数・数学の学力向上にどのように取り組んでいるのか、教育長に尋ねる。

【答弁】県学方向上対策会議を開催し、学力調査の分析結果を共有して対応策を協議した。今後は、県の指導主事が直接学校を訪問し、一人一人の学力や学習状況に応じた授業への改善を支援するとともに、オンラインによる教育研修を継続的に実施していく。

6常任委員会が審査・現地調査を実施

12月16日、17日及び20日の3日間、6常任委員会がそれぞれ所管する



▲農林水産委員会の現地調査

る部局等に係る議案の審査等を行った。そのうち農林水産委員会(佐々木彰委員長)と土木委員会(宮川政夫委員長)は、17日に現地調査を実施した。農林水産委員会では令和3年産米の米価下落に伴う米生産者等への支援策を質したほか、浪江町の対宿丸ビンカントリーエレベーターの稼働状況などを現地調査した。

令和2年度決算関係議案を認定・可決

12月15日及び20日に決算審査特別委員会(長尾トモ子委員長)を開き、令和2年度決算に対する意見書を決定するとともに、決算関係の付託議案について採決を行い、認定または可決すべきものと決した。

21日の閉会日には本会議で、委員長報告の後に採決を行い、関係6議案を認定・可決した。



▲決算審査を報告する長尾トモ子委員長

※決算の概要は、福島県ホームページ(福島県の財政)をご覧ください。

12月9日、次期県議会議員一般選挙に向けて総定数や選挙区別定数等を議論するため、議員定数等検討委員会(佐藤憲保委員長)を設置し、協議に入った。

議員勉強会を開催

12月10日、東邦銀行取締役の渡部速夫(わたなべ、はやぶ)氏を講師に迎え、演題「産業集積と地域活性化について」により、本県の特徴を活かした産業の集積や人材育成などについての見識を深めた。



▲議員勉強会の様子

政務活動費検討会を開催

12月20日、政務活動費検討会(満山喜一会長)を開き、政務活動費の交付額について協議した。

12月7日及び20日にICT化検討会(鈴木智会長)を開き、タブレット端末及びクラウド型ファイル管理システムの使用に当たってのルール作りについて協議した。

編集後記



前列左から、宮本しづえ委員、三村博隆副委員長、坂本竜太郎委員長、荒秀一委員
後列左から、江花圭司委員、橋本徹委員、伊藤達也委員、水野透委員、山内長委員

私たち9人の議員が昨年11月から新たに広報委員となりました。引き続き、開かれた県議会を目指し、わかりやすく親しみやすい議会広報に努めてまいります。

可決した国への意見書

(令和3年12月21日、国へ提出)

- 1 私学助成の充実強化等を求める意見書
- 2 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を求める意見書

採択した請願(意見書、決議を求めるものを除く)

- 1 私立小・中・高等学校に対する運営費補助金の充実を求めることについて
- 2 保護者納付金(授業料)の公私間格差の是正を求めることについて

お知らせ

- ◆令和4年2月定例会は、2月14日(月)開会の予定です。
- ◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL: (024) 521-7608 FAX: (024) 521-7965
メール: gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
- ◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル(YouTube)」も是非ご覧ください。
- ◆県議会インターネット中継(生中継・録画中継)はスマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけます。
- ◆新型コロナウイルス感染症については、感染力の強い「オミクロン株」が全国的に急拡大しております。県民の皆様には、マスク着用などの基本対策を更に強化していただくとともに、大人数・長時間の飲食や県をまたぐ不要不急の移動は極力控える、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出は避けるなど、感染拡大防止にご協力をお願いいたします。



◆詳しい情報は
福島県議会 検索